

令和6年度 第1回長浜市入札監視委員会 会議録（要旨）

日 時		令和6年10月31日（木） 午後2時30分から午後4時40分まで
場 所		長浜市役所本庁舎2階 2-A会議室
会議の公開・非公開の別		非公開
出席者	委員	須永知彦委員（委員長）、田嶋明日香委員、金子尚志委員
	事務局	契約管理課：今井課長、谷沢課長代理、西尾係長、音光寺主査
	説明者	建設監理課：久保田課長、未来こども若者課：小川係長、狩野主査

議題（1）入札及び契約手続きの運用状況の報告について

事務局	① 令和6年3月以降の取組 下記の取組について説明 ・ 労務単価等の上昇に伴う契約変更について ・ 最低制限価格（最低制限基準価格）等の算出について ・ 積算疑義申立制度の運用状況について ・ 変動型最低制限価格制度の試行状況について
委員	変動型最低制限価格制度で、今年度の建築系工事で変動が生じた案件が多かった理由として、何か考えられることは。
事務局	建築系工事に関しては、令和6年度から最低制限基準価格の計算式を一部改正したこと、また、発注時に金抜き設計書を提示していないために応札金額にばらつきが生じることが原因ではないかと考えています。
委員	積算疑義申立制度について、昨年度より大幅に申立件数が増えてはいないが、開札前中止や開札後疑義前中止などを含めると設計違算件数は増えている。 設計違算の傾向やその対策について考えていることはあるのか。
事務局	発注時に提示している資料に誤りがなく、公平性が確保される場合に限っては、開札後においても予定価格を訂正したうえで入札手続きを続行する仕組みを検討しています。
建設監理課	設計違算の原因としては、仕様書と設計書の不整合、数量の計上誤り、計上すべき単価の計算誤り等のケアレスミスのほか、積算システムの不具合がありました。 これらの対策として、改算を担当する中堅職員を中心に積算業務の研修を、若手

	職員を中心に事務ミス防止研修を積極的に受講させ、その成果を各所属で伝達・共有してもらいました。また、従前から月1回開催している設計担当職員が集まる会議において、設計違算の情報を共有し、違算防止のためのチェックリストも随時更新しています。
委員	人手によるチェックにも限界があると思われる。検算用システムの導入などは検討していないのか。
建設監理課	検算用システムは積算用システムと同じものであって、積算用システムが2つあっても違算対策にはならない。改算用システムというものは無く、改算とは設計積算の際の条件等を人手で確認する作業なので、今のところ検算用システムの導入は考えていません。
委員	違算の原因に積算システムの不具合とあったが、システムの改修は対応済みなのか。
建設監理課	滋賀県がシステム業者と共同で開発したシステムを本市でも利用しているため、滋賀県の担当部局には改修の要望を挙げましたが、改修が必要ならば長浜市の方で費用負担してシステム改修委託するようにとの回答でした。
委員長	ただいまの事務局からの説明を受けて、長浜市の令和6年度上半期の取組を確認した、としてよろしいか。 (全委員、了承)
事務局	② 直近までの落札率の状況 平成27年度から直近(令和6年9月末)までの落札率について説明 (特に、意見・質問なし)
事務局	③ 令和6年3月から令和6年9月までの入札執行状況 下記の資料により、入札執行状況を説明 ・入札方式別発注工事等総括表 ・入札方式別発注工事等一覧表 令和6年3月分については、工事の平準化のため、債務負担行為として前年度中に入札契約を行い、実際の工事は4月以降に行った実績になります。

	(特に、意見・質問なし)
事務局	④ 入札参加停止等の運用状況 入札参加停止等の運用状況の一覧表により説明 (対象案件：5件、対象業者：9者)
委員	長浜伊香ツインアリーナの防球ネットの保持支柱が落下した事案については、完了検査時には発見できなかったのか。いつ完成した建物なのか。
事務局	落下原因は、保持支柱の鋼管とプレートの溶接箇所が破断したもので、検証の結果、溶接強度が十分に検討・確保されないまま施工されたようです。溶接強度の問題ということで、目視による検査では発見できませんでした。 施設の完成は令和2年4月で、完成から4年経っています。
事務局	⑤ 談合情報対応状況 今期については、対象となる情報なし (特に、意見・質問なし)
委員長	入札参加停止及び談合情報につきましては、それぞれ基準に基づき運用されている事を確認し、「特に問題なし」としてよろしいでしょうか。 (全委員、了承)

議題（２）入札方式別発注工事等一覧表からの抽出事案の審議について

	(田嶋委員から、案件抽出の経過について報告)
事務局	① 「総合評価方式」で技術評価点を通知後に入札中止となり、再発注を行った 市民庭球場再整備工事 (概要説明)
委員	開札後に入札中止となったようだが、違算の内容としては間違いやすいものであったのか。設計条件に迷うような点があれば、設計担当者と改算者が相談するような体制になっていないのか。

事務局	AかBかを迷うような状況であれば、設計担当者は改算者や他の職員に相談したと思いますが、今回のケースは、設計者が適用すべき算定式を誤って認識しており、確認者も含めて、注意すべき点として意識化されていなかったことが原因と考えています。 設計違算を減らすべく、職員の教育と、違算情報の共有化を進めていきたいと考えております。
委員	再発注において、技術提案の着目点を変えたとの説明であったが、一度行った技術提案等に対する評価点を御破算にして、改めて評価点を採点する必要があったのか。
事務局	1度目の入札では、技術提案等に対する評価点を応札者に通知した後に入札中止としました。このため、再発注において技術提案の着目点が全く同じでは、1度目と再発注の両方に参加する者が自身の採点を考慮して提案内容を修正することが可能であることを考えると、1度目には参加せず再発注にのみ参加する者との間で公平性が確保できないとの考え、技術提案の着目点を変えて発注し、改めて技術提案に対する採点を行いました。
委員	総合評価方式は受注者に求める資料等が多く手間と時間がかかるということであれば、入札中止となることがないように、設計積算業務を行う際にはより厳重なチェック機能が働くような体制を検討されたい。
事務局	② 3回目まで応札を求めたが、入札取り止めとなった 長浜駅自由通路等改修工事 (概要説明)
委員	入札不調となったことについて、理由として考えられることはあるか。
事務局	駅の自由通路ということで人の往来が多いため、現場規制・管理を慎重に行う必要がある点が影響して応札者が少なかったこと、また、第三者の安全対策をどの程度考慮するかによって応札額に差が生じたことが原因と考えています。
事務局	③ 舗装工事のうち、疑義申立てが提出される前に入札中止し、再発注を行った 林道支線日の裏線舗装修繕工事 (概要説明)

委員	違算の原因が、積算システムの問題であるのならば、早急にシステムの改修を行うよう、システム提供者に強く要望すべきである。
事務局	④ 事前審査型のうち最も落札率が高かった （仮称）小谷城戦国体験ミュージアム新築等工事設計業務 （概要説明） （特に、意見・質問なし）
未来こども 若者課	⑤ 公募型プロポーザル方式のうち提案者が最も多かった 長浜市ふるさと寄附推進事業業務 （概要説明）
委員	これまでは複数の中間事業者に委託していた業務を一本化するとの説明であったが、これまでの受注事業者も今回のプロポーザルには参加されたのか。
未来こども 若者課	これまでは中間事業者の業務は(株)新朝プレスとえきまち長浜(株)が受注しており、この2者も今回のプロポーザルに参加されました。
委員	契約候補者となった事業者は、2023年度の中間事業者ランキングで全国1位とのことだが、所管課として、この事業者の評判等はプロポーザル実施前から承知していたのか。
未来こども 若者課	(株)スチームシップは、九州を中心に事業展開されている会社ということもあり、今回のプロポーザルに参加していただくまでは、この事業者のことは存じ上げませんでした。
委員	今回、プロポーザル選定委員会が4名の委員で構成されているが、この4名は本事業に関わりのある部局から偏りなく選定されているということか。
未来こども 若者課	財産に関する事務を所管する総務部の次長、システムに関連するためデジタル行政推進局長、返礼品として地場産業に関連するため産業観光部の次長、そして、ふるさと寄附事業を所管する未来創造部の次長を委員として選定しました。
委員長	以上で、抽出案件についての個別の説明・審議は全て終了しましたが、全体を通

委員長	して何か御意見ありますか。 (特に、意見なし) 今回の審議案件は9月までの発注分のみということもあり、昨年度同様、下半期の発注結果を見たうえで意見具申を行ってはどうかと思いますが、よろしいでしょうか。 (全委員、了承)
------------	---

議題（３）その他

事務局	契約管理課から報告 ・来年度から、予算所管課で執行する案件も含めて、原則全ての案件を「一般競争入札」方式とする予定で、事務マニュアル等の改訂を進めています。
委員長	本日の議事は全て終了しましたので、以上を以って入札監視委員会を終了します。